

1998

FNS 27 時間テレビ「空き缶アート」

日時：1998年（平成10年）7月19日

報告：中嶋健明



1998年、「フジテレビ夏の祭典'98FNS1億2700万人の27時間テレビ夢列島-てれずにいいこと・てれずに楽しく-」の番組に、学生有志が挑戦した。

5月18日、テレビ新広島（TSS）企画制作部 角ディレクターより、芸術学部デザイン工芸学科助教授 中嶋健明に打診があり、6月17日芸術学部を中心とする数十名の学生有志が集合し局側からの提案を聞いた。他のローカル局との視聴者の投票によるコンペへの参加である。

当時デザイン工芸学科1年生の吉田夏奈をキャプテンとして、「芸

術学部棟エントランスの空き缶モザイク」、「空き缶着ぐるみ」の各グループに分かれ、計画が練られ様々な実験を繰り返し約20日間に渡る制作に取りかかった。

放送は7月19日。学生有志や、TSSスタッフと共に、夜を徹して準備を進め午後12時15分、本番がスタートした。計画どおり演出は進行し、最後にはエントランスの「空き缶モザイク」がガラガラと崩れ落ちるところで本番中継の終了。

惜しくも優勝は逃したものの参加者全員が一つとなって「熱い夏を過ごした。